フラットパネル関連

アドフラット

●工事現場と同じ環境との調和を考え開発し、永い間みなさまに愛され仮囲いの定番品となりました。
デザイン性と利便性が評価されグッドデザイン賞（ロングライフデザイン）を受賞しました。

現場と環境を調和します

凹凸がなく、真っ白なアドフラットホワイトを使用することで、工事現場と環境との美しい調和を実現させることができます。

デザイン

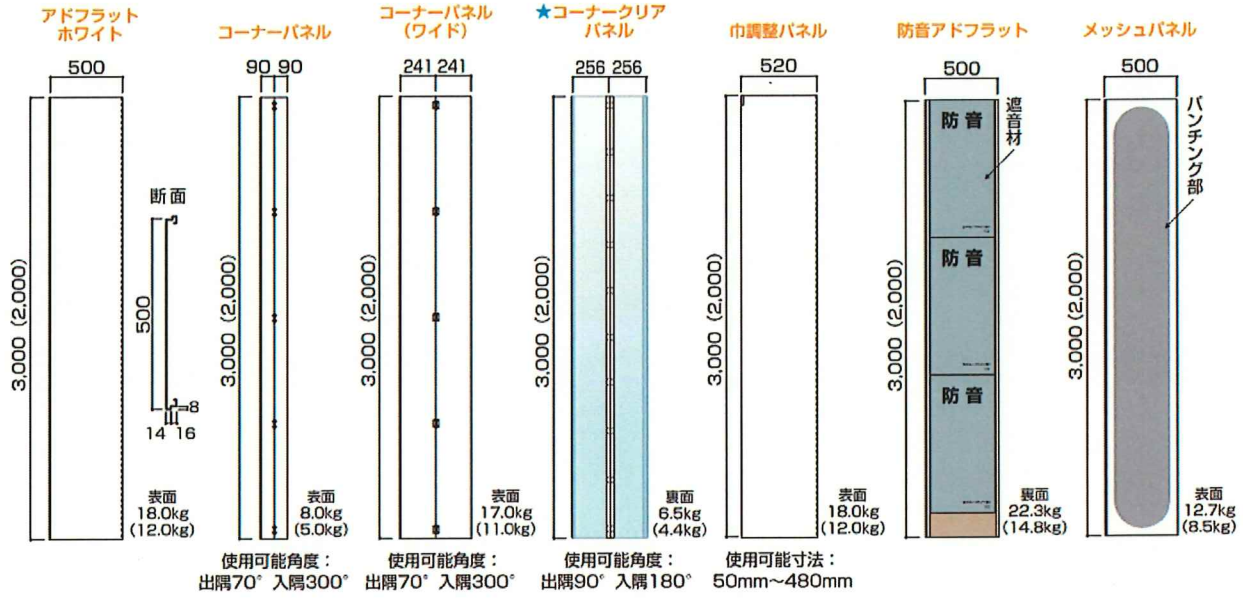
表面がフラットなので広告媒体として利用が可能です。

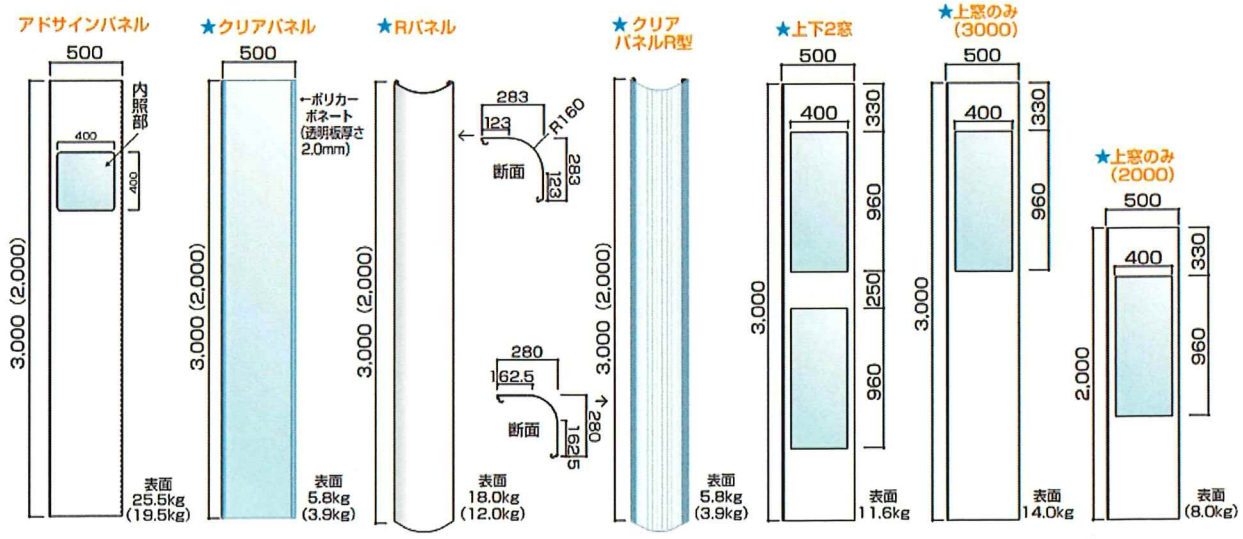
安全性に優れた面板

表面に突起物が無いので衣類や身体の一部をひっかける心配がありません。

製品図

単位(mm)





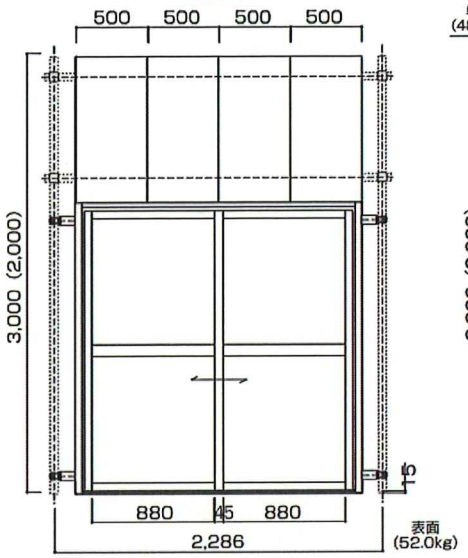
※（ ）内数値は、2,000mmの値を示します。
★マークは、販売品となります。

フラットパネル関連

製品図

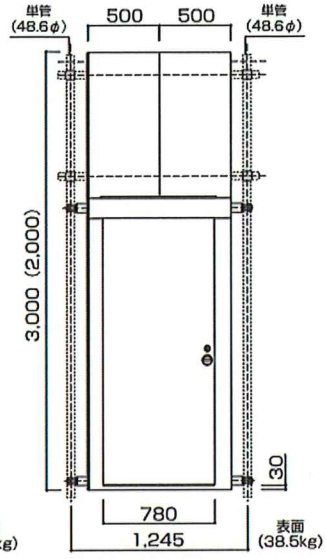
単位(mm)

引違い戸



3mの場合は、ドア本体（高さ2m）の上に
アドフラット（高さ1m）を4枚取付けます。

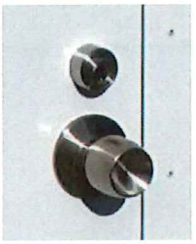
ドアパネル



3mの場合は、ドア本体（高さ2m）の上に
アドフラット（高さ1m）を2枚取付けます。

ケースハンドル（標準品）

★にぎり玉（オプション）

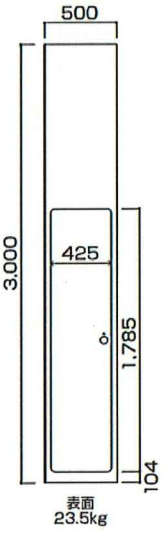


★ドアクローザー
（オプション）

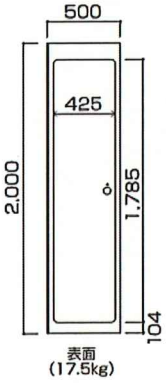
★引違い戸用補助錠
（オプション）

★マークは、販売品となります。

ミニドアパネル
3000



ミニドアパネル
2000



■ アドフラット必要金具数量

	アドフラットホワイト	コーナーパネル	コーナーパネル(ワイド)	巾調整パネル	ドアパネル	ミニドアパネル	引違い戸
	メッシュパネル		Rパネル				
	防音アドフラット		クリアパネルR型				
	上下2窓・上窓のみ		※1	※2	※3		
	クリアパネル			※4			※3
	アドサインパネル						

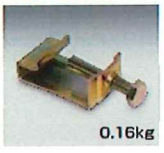
	3m	2m	3m	2m	3m	2m	3m	2m	3m	2m	3m	2m	3m	2m
Jフック	6	4			6	4	(3)	(2)	8				16	
ジョイント金具L			6	4	(6)	(4)	3	2			7	5		
ジョイント金具S							1	1						

※1. Jフックをお勧めいたしますが、ジョイント金具Lでもご使用いただけます。
※2. ジョイント金具Lをお勧めいたしますが、Jフックでもご使用いただけます。
※3. ドア本体に専用取付金具が付属します。Jフックは高さ3mでお使いの場合に上部のパネルに使用します。
※4. 上部の固定をジョイント金具Sで行う場合は、数量2となります。

Jフック

アドフラットの裏端部にひっかけ、単管をまたがせてボルトで締め付けます。

ジョイント金具L



巾調整パネル・コーナーパネルを取付ける際に使用します。
この金具でアドフラットにしっかり固定させます。

ジョイント金具S

巾調整パネルを取付ける際に使用する金具です。アドフラットと巾調整パネルの下部の重なる部分を固定させます。

巾調整用ビス

巾調整パネルを取付ける際に使用するビスです。
アドフラットと巾調整パネルの重なる部分を固定させます。

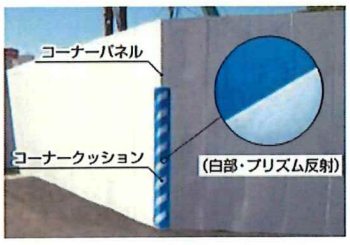
コーナークッションマグネットタイプ（販売品）

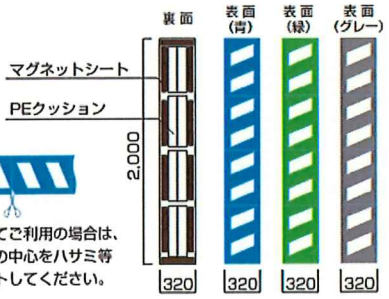
マグネットで取付け簡単
危険表示と衝撃防止の2役
高輝度反射で、反射力アップ

■ 規格物性

材　質	本体：PVC　裏面：クッション：PE　ゴムマグネット
寸　法	巾320mm×高さ2000mm

■ コーナークッション設置イメージ



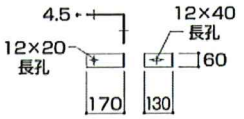


分割してご利用の場合は、
二本線の中心をハサミ等
でカットしてください。

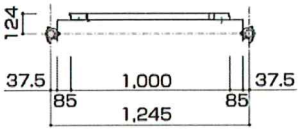
フラットパネル関連

ドアパネルの主な仕様

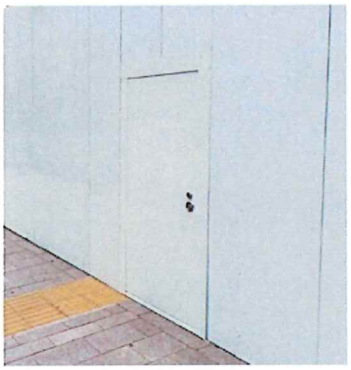
【固定具-1詳細図】



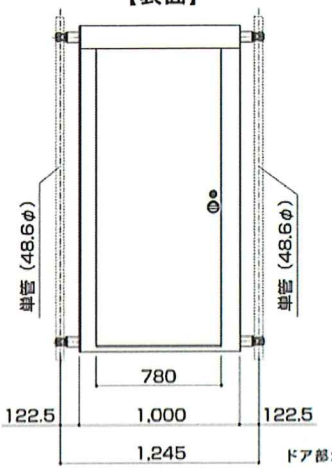
【A-A断面図】



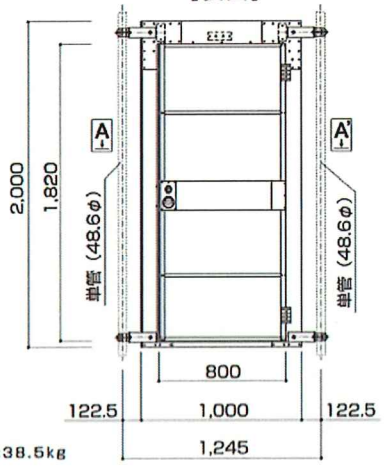
■ ドアパネル設置写真（表側）



【表面】

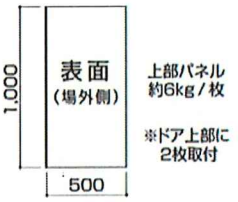


【裏面】



ドア部:38.5kg

ドア上部パネル



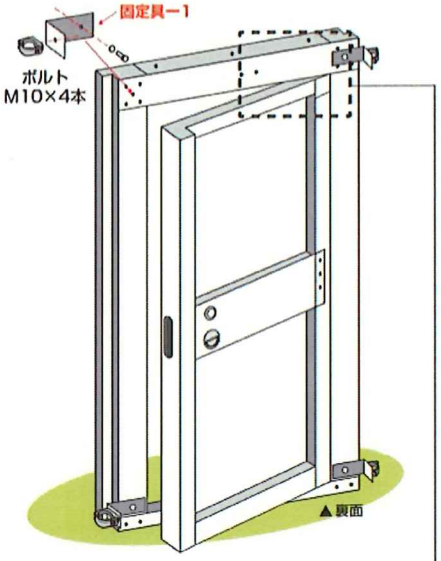
上部パネル
約6kg/枚

※ドア上部に
2枚取付

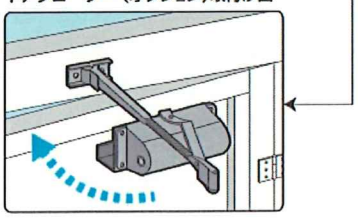
ドアパネル使用の手引き

■ 固定具取付け要領（イメージ図）

（ドアパネルは、ドア本体とドア枠より構成されます。）



ドアクローザー（オプション）取付け図



■ ドアパネルの取付け方法と取付け手順

① 梱包解体後、地面に水平に仮置きした状態で、ドアパネルの四隅の"固定具ー1"をM10ボルトおよび座金にて、所定の位置に仮止めする。

② ドアを垂直に立て、左右前後水平になるように調整し、四隅の"固定具ー1"を単管に本締めする。(単管への取付け状況は、製品図参照)

③ 設置後のドアパネルの上に、アドフラット標準パネルをセットし、金具にて単管に取付け、ドアパネル上部を形成する。
（3m高さのアドフラットの場合、1m長さの標準パネルを2枚使用する）

■ ドアクローザー（オプション）の取付け方法と手順

① ドアを設置する。

② 取付ける前に、ドアパネルが正しく水平に設置されている事を確認する。

③ ドアクローザーは、ドアパネル設置完了後、付属のネジにて所定の位置に取付ける。

詳しくは「ドアクローザー取扱い説明書」を参照してください。

注) 正しく水平に設置されるよう注意して下さい。水平に設置されないと、ドア本体とドア枠に隙間が生じることがあります。また、クローザーの調整がむずかしくなります。機種によっては、使用できないものがありますので、ドアクローザーは、弊社に御注文頂くか、弊社営業担当者にお問い合わせください。

● ドアパネル本体重量:38.5kg(H=2000mm)

※ 製品開発上の都合により予告なく仕様を変更することがありますのでご了承ください。

フラットパネル関連

防音アドフラット

遮音性の向上
アドフラットパネルの特長をそのまま生かしながら遮音性能を更に高めます。

後付けができます
防音マグネットシートは磁力によりアドフラットを現場に設置したあとも簡単に取付け出来ます。

取付け金具不要
アドフラットの裏面に磁力でそのまま取付け出来るので取付け金具は必要ありません。

イラストはイメージです。

■ 防音アドフラット 高さ3000mm設置例（裏面）

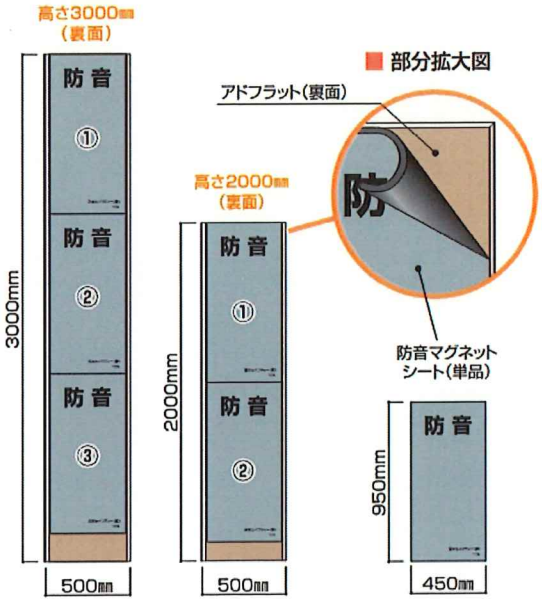
仕様・規格

■ 防音アドフラット

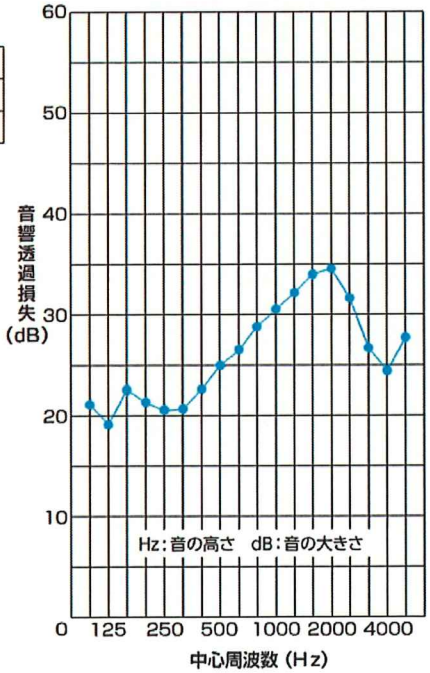
	高さ 3000mm	高さ 2000mm
寸　法	巾500mm × 高さ3000mm	巾500mm × 高さ2000mm
重　量	約22.3kg（金具なし）	約14.8kg（金具なし）
シート使用枚数	3 枚	2 枚

■ 防音マグネットシート（単品）

寸　法	巾450mm × 高さ950mm × 厚み 1.1mm
重　量	約 1.4kg
材　質	マグネット　・　PVC フィルム



音響透過損失データ



中心周波数（Hz）	音響透過損失（dB）
100	21.2
125	18.9
160	22.5
200	21.3
250	20.7
315	20.9
400	22.7
500	25.0
630	26.6
800	28.9
1000	30.5
1250	32.1
1600	34.0
2000	34.5
2500	31.6
3150	26.7
4000	24.6
5000	27.8

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
測定値による

※ データは、アドフラットと防音マグネットシートを併用した時の数値になります。
※ 音響性能の試験はJIS A 1416（実験室における音響透過損失測定方法）に定める方法で測定しています。
※ 音響透過損失20dB=音の大きさを1/100にします。

フラットパネル関連

デュラカーム® E-fx・TW

騒音（回折音）を抑制する

仮囲い上端で起こるエッジ効果を抑制して、現場外に回り込む音を低減させます。

設置高が低い

プラス約500mmで追加の防音対策が可能なので、圧迫感も少なく、景観への配慮、日照の確保がしやすくなります。

軽量で取付け簡単

パネル重量約8kg/枚で仮囲い上部へ簡単に設置できます。

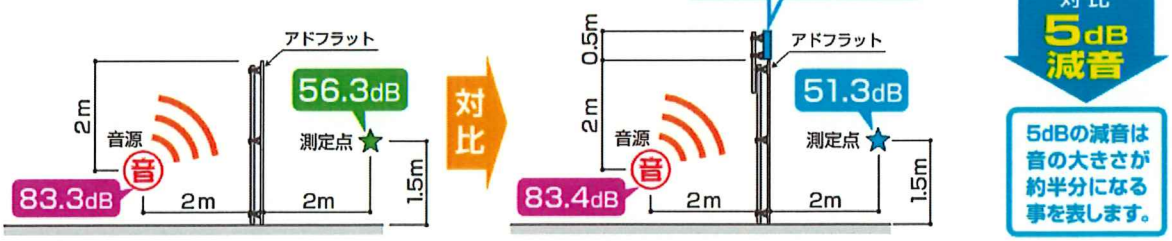
用途（比較イメージ）

※エッジ効果とは：壁（仮囲い）の上端（エッジ近く）で、音のエネルギーが非常に大きくなる現象です。

E-fx・TW減音効果

■ アドフラット単体の場合

■ アドフラット＋ デュラカーム® E-fx・TW の場合



日本環境アメニティ株式会社 竜ヶ崎研究所内にてピンクノイズ（様々な音響試験で使用される合成音）による音源での測定結果です。
数値は実験に基づく結果です。保証値ではありません。